

暖かな日差しが感じられる本日、卒業証書を手になされました 171 名の皆様、また、博士・修士課程を修了された 55 名の皆様、誠におめでとうございます。晴れの日を迎えられ感慨もひとしおの事と存じます。

皆様のこれまでの努力に対して敬意を表し、鷹陵同窓会を代表して心よりお祝いを申し上げます。

本日、卒業を迎えられた皆様にとって、学業と仕事を両立させ様々な事を抱えながら学習時間を捻出し、学ぶ事の楽しさ、そして、やり遂げたという達成感を得られたことと思います。本学での学びが一旦修了致しましたが、それぞれの人生における学びは終わりではなく、生涯に渡り学び続けて行く事になると思います。昨今、私達を取り巻く環境は日々大きく変化しており、価値観、倫理観が揺さぶられ混迷の度を深めつつあります。このような時代をいきるからこそ、佛教大学の卒業生としての更なる自覚を持ち、それぞれの場で学んだことを生かし活躍される事を希望いたします。

佛教大学通信教育の精神は、法然上人が遠く離れた地方に住む弟子や信徒に対して教えを伝えた、御消息と云う手紙にあると伺っております。この精神を受け継ぐ、伝統有る佛教大学の卒業生であることは、私たちにとって大きな誇りであります。

本日、皆様が手にした卒業証書は、学業成就の証であると同時に、そこに込められた法然上人の精神をもって、私たちと大学を繋ぐ絆となります。

私達の鷹陵同窓会は、昭和 31 年に第一期生の有志により立ち上げられ、平成 28 年、60 周年を迎えることができました。日本はむろん、海外にも支部を置き、現在、2 万人以上の同窓会員を擁し、在学生との交流も図り、研修会、講演会を実施し、地域を跨いでの活動も活発に行われています。

大学、校友会、私達同窓会はこの縁という糸で結ばれている御数珠のようなものと考えております。そのひと粒ひと粒のそれぞれが、その役割を果たしながら、支えあっております。

卒業・修了された皆様方には、是非とも鷹陵同窓会に入会して頂き、在学生との橋渡し役として、今後とも御縁をいただければ幸いです。

『心のふるさと佛教大学』で皆様方と又、お会いできる事を期待しております。

最後になりましたが、皆様のご健勝で活躍されますことを祈念し、併せて学び舎であるこの佛教大学の益々のご発展を願って、お祝いの言葉といたします。

平成 31 年 3 月 25 日 佛教大学鷹陵同窓会 会長 河田 茂美